編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

自分たちの町を自分たちで守る 市民による防災活動

尾西防災ボランティアサークルの会は旧尾西市の市民が主体となって平成16年に設立されました。平成10～15年の愛知県防災局主催の愛知県防災ボランティアコーディネーター養成講座の修了者、平成16年尾西市社会福祉協議会主催の防災ボランティアコーディネーター養成講座の修了者とあいち防災リーダー会一宮支部のメンバーが中心です。設立後、災害発生前と発生後のために各種活動をしています。現在の会員は45名で、平均年齢は60代です。

同団体では、スキルアップ講座を年3回実施しています。①防災知識を学ぶもの、②防災に関係する社会見学、③冬場の炊出し訓練も行っています。防災知識を学ぶ講座では、AED訓練や避難所運営ゲーム(HUG)を行います。また、段ボールを活用して簡易トイレの製作や避難所での間仕切り体験なども行っています。そして、家具転倒防止のための金具の取付けなども愛知県や一宮市内の他の防災ボランティア団体と協力して行っています。

団体代表の伊藤善之さんにお話を聞きました。

「私たちの活動は地味なものです。しかし、日本は地震や風水害が多い国であり、防災活動は欠かせないものです。市民の方々が安心・安全に暮らせるようにするため、これからも防災・減災活動を続けていきます。町内会(自主防災会)に自主防災組織が編成され、防災訓練が実施されることや災害救助用資器材が整備されること、災害時に開設される避難所の運営が周辺の町内会や志願者により円滑に実施されることが私の希望です。町内会(自主防災会)に防災委員が設置されることも期待しています」

※なお、同団体の上部団体に「一宮防災ボランティアネットワーク」があり、あいち防災リーダー会一宮支部、一宮防災VCネット、木曽川町防災ボランティアの会と当会の4団体によって構成されています。

お寺にて三河地震の体験談を聴く

今回は《さくら盆踊り》を紹介します

平成24年度に発足し、ただいま会員22名で、年がら年中盆おどりの練習をしておられます。そして練習の成果を皆さんと楽しく観ていただくために、デイサービスセンターや老人ホームの慰問を行っているそうです。

月2回の練習で、その内の1回は講師の指導を受けながら、楽しく盆おどりの練習に励んでいるそうです。体を動かすと、元気になり、さらに皆さんの交流の場としての役割が果たせるようになってきているようです。

まだまだ発足したばかりですが、興味を持たれた方は是非見学してみませんか?

会費は月700円で、練習場所は尾西生涯学習センター西館3F講堂(平成29年4月からは尾西生涯学習センター6F大ホールの予定)です。

問合せ:代表 井口 すわ子　(TEL 090-4867-5412)